

## 地域連携パス「地域連携シート」の運用について

京都府共通様式の脳卒中および大腿骨近位部骨折地域連携パス Excel 様式に『地域連携シート』を追加し、平成31年3月より順次運用を開始します。

回復期病院（2段階目の連携病院）を退院する脳卒中・大腿骨近位部骨折の地域連携パス適応患者について、生活期の医師（かかりつけ医）、訪問看護師、ケアマネジャー、生活期のリハビリテーションを担当するセラピスト等に入院中の医療情報・リハビリテーション情報等を伝達することで、生活期における適切なリハビリテーションの提供に繋げることを目的としています。

### ◆概要

基本情報、医師、薬剤、看護師、リハビリ、MSW、摂食嚥下の各シートからなる地域連携パスの各シートの内容を A4 用紙2枚にまとめ、『地域連携シート』として主に診療情報提供書に添付する形での運用を想定しています。

『地域連携シート』には、入院中の経過（各シートのまとめ）に加えて、かかりつけ医が訪問看護やリハビリテーションの指示をする際、ケアマネジャーのケアプラン作成時、介護サービス事業所等のセラピストがリハを実施する際などに活用できるよう、病院の医師、看護師、セラピスト等により、リハの目標やポイント、リハ実施上の留意点等について記載していただく欄を設けています。

基本的には、各シートへの入力内容が自動的に反映されますが、下記項目（項目名のセルがピンク色）には新たに入力が必要です。いずれの項目も生活期におけるリハビリテーション等の提供にあたり重要な内容ですので記載をお願いいたします。

職種	項目名	記載する内容
医師・看護師	特記事項	その他、医療、栄養等に関して伝達が必要なこと
セラピスト	装具・福祉用具	装具の作成年月日、作成業者（病院）、種類 など
MSW	進捗状況	介護保険：各種調整の進捗状況
医師・セラピスト	リハの目標・ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>リハの目標（長期・短期、本人・リハ提供者側）、具体的課題</li> <li>リハのポイント</li> <li>継続すべきリハの具体的内容（現在の能力から見て特に強化すべき点、実施したが改善できなかった点、モチベーション維持のポイント など</li> </ul>
	リハ実施上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>リハ実施にあたっての注意事項、留意事項</li> <li>運動強度、負荷量 など</li> </ul>

※項目名のセルが 緑色 ⇒ 「急性期」各シートへの入力内容を反映

水色 ⇒ 「回復期」各シートへの入力内容を反映

ピンク色 ⇒ 新たに入力が必要

#### ◆運用方法

- 回復期病院（２段階目の連携病院）を退院するパス適応患者を対象とする。
- 回復期病院（２段階目の連携病院）の退院時、「診療情報提供書」に添付することにより、生活期の医師（かかりつけ医）に情報提供を行う。  
※『地域連携シート』の添付により、「診療情報提供書」の記載の一部を省略できる  
「診療情報提供書」を補完するツールとしての位置づけ
- 退院時カンファレンス等において、ケアマネジャー、訪問看護師等にも手渡すことを想定。

#### ◆運用開始時期

平成31年3月より順次運用開始。